

令和7年度 LINE を活用したアンケート調査結果
 「福島市ポイ捨てのない美しいまちづくり」の現状と今後の課題に対する意識調査

作成:福島市環境衛生課

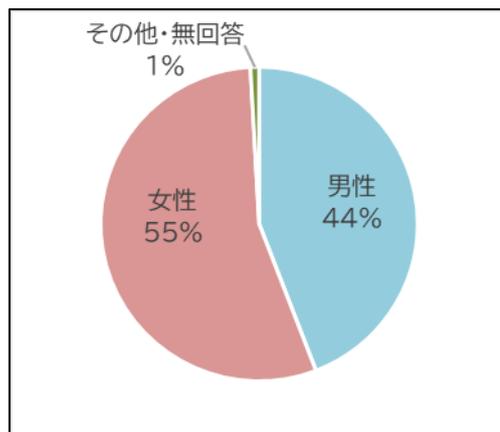
テーマ	「福島市ポイ捨てのない美しいまちづくり」の現状と今後の課題
目的	本市では、令和3年3月に策定した「福島市ポイ捨てのない美しいまちづくり行動計画(第四期)」に基づいて、ごみの散乱及び飼い犬のふんの放置の防止にかかる取組を行っています。 次期行動計画(第五期)策定の参考とするため、現在の状況と今後の課題に関する市民の皆さまの意見を伺いました。

【調査期間】	令和7年7月16日(水)～7月30日(水)
【対象者数】	55,082人 (市公式LINE友だち登録者のうち、受信設定が市内かつアンケート同意者)
【回答者数】	1,585人
【回答率】	2.88%

1 回答者の属性

問1	性別を教えてください。
----	-------------

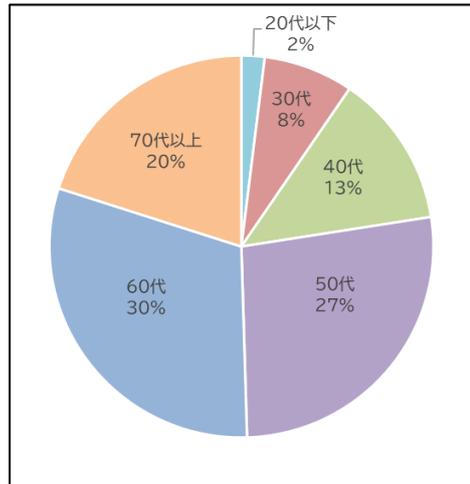
	回答数
男性	700
女性	871
その他・無回答	14
合計	1,585



問2

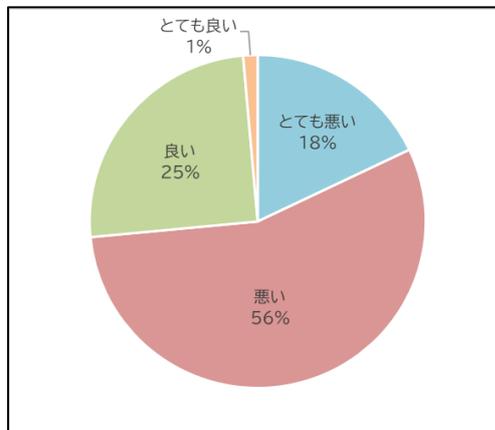
年齢をお答えください。

	回答数
20代以下	31
30代	120
40代	206
50代	428
60代	482
70代以上	318
合計	1,585

**2 福島市のポイ捨てごみの状況について****問3**

福島市のごみのポイ捨ての現状について、どのように感じますか？

	回答数
とても悪い	284
悪い	881
良い	398
とても良い	22
合計	1,585

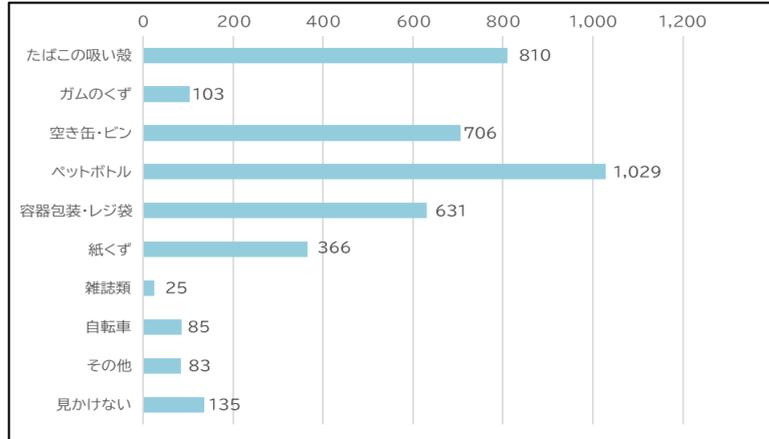


「悪い」と回答した方が56%と最も多く、「とても悪い」、「悪い」と回答した方は合わせて74%でした。依然としてポイ捨て問題が地域課題として根強く存在していることが分かりました。

問4

市内ではどのごみのポイ捨てをよく見かけますか？

	回答数
たばこの吸い殻	810
ガムのくず	103
空き缶・ビン	706
ペットボトル	1,029
容器包装・レジ袋	631
紙くず	366
雑誌類	25
自転車	85
その他	83
見かけない	135



<その他の回答>

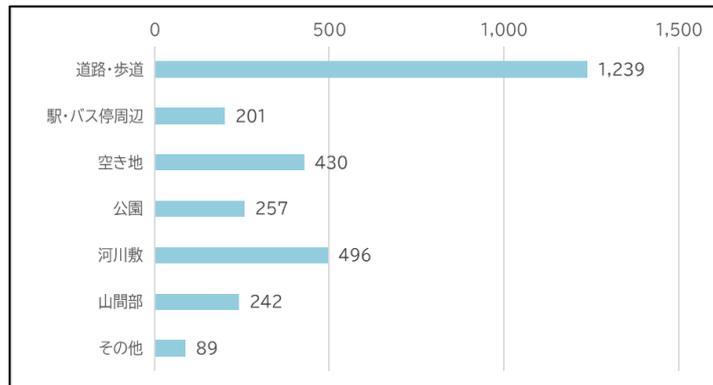
・マスク ・中身の入ったペットボトル ・プラスチック容器 ・家電製品 など

ポイ捨てされているごみでよく見かけるごみの種類は、「ペットボトル」、「たばこの吸い殻」、「空き缶・ビン」が上位を占め、使い捨て容器類のポイ捨てが多いことが分かりました。

問5

市内のどこでのごみのポイ捨てをよく見かけますか？

	回答数
道路・歩道	1,239
駅・バス停周辺	201
空き地	430
公園	257
河川敷	496
山間部	242
その他	89



<その他の回答>

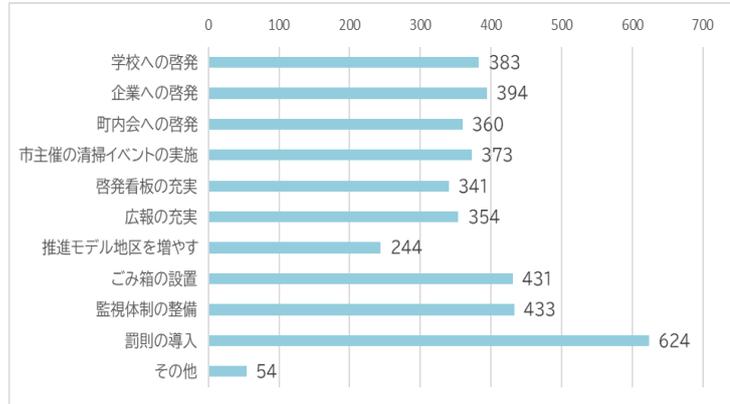
・国道や県道などの幹線道路及びその沿道 ・高速道路及びその側道
 ・コンビニ等の民間施設の駐車場 ・田畑などの農地 ・集積所 など

ごみのポイ捨てを見かける場所として、「道路・歩道」と答えた方が最も多く、人通りが多い場所にごみのポイ捨てが集中していることが分かりました。

問6

ポイ捨てを防止するためには、どのような方法が必要だと思いますか？

	回答数
学校への啓発	383
企業への啓発	394
町内会への啓発	360
市主催の清掃イベントの実施	373
啓発看板の充実	341
広報の充実	354
推進モデル地区を増やす	244
ごみ箱の設置	431
監視体制の整備	433
罰則の導入	624
その他	54



<その他の回答>

- ・学校での教育 ・家庭での教育やしつけ ・監視カメラの設置
- ・個人のモラルやマナーの向上 ・罰則等の厳罰化 ・街路樹や側道の除草や手入れ など

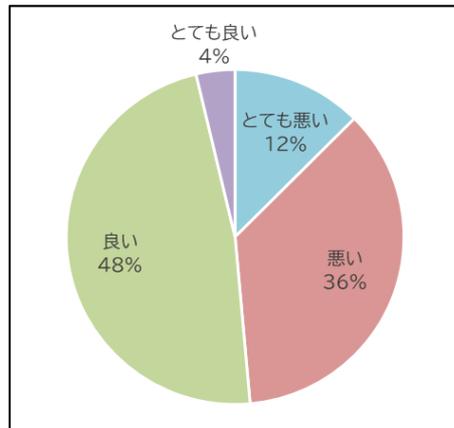
ポイ捨て防止のために必要な方法として、「罰則の導入」を挙げる回答が最も多く、ルール整備を求める意見が一定数確認されました。一方で、「学校・企業・町内会への啓発」や「広報の充実」など、啓発活動に関する項目に多くの回答が寄せられており、意識の醸成を重視する傾向も見受けられました。

3 福島市の犬のふん放置の状況について

問7

福島市での飼い犬のふん放置の現状について、どのように感じますか？

	回答数
とても悪い	198
悪い	572
良い	756
とても良い	59
合計	1585

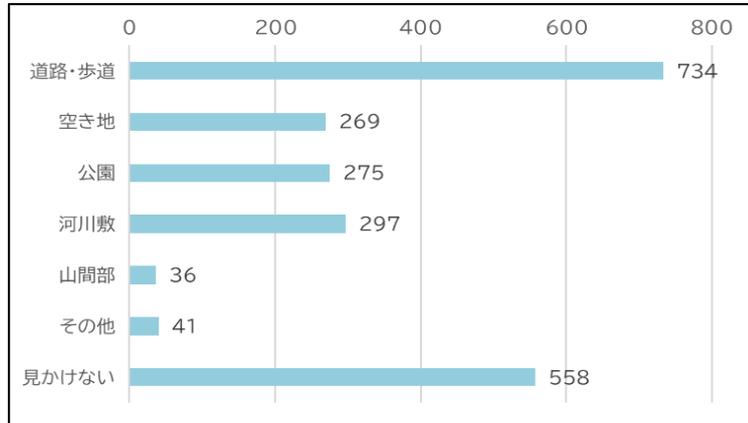


「良い」と回答した方が48%と最も多く、「とても良い」「良い」と回答した方は合わせて52%でした。

問8

市内のどこで放置された犬のふんをよく見かけますか？

	回答数
道路・歩道	734
空き地	269
公園	275
河川敷	297
山間部	36
その他	41
見かけない	558



<その他の回答>

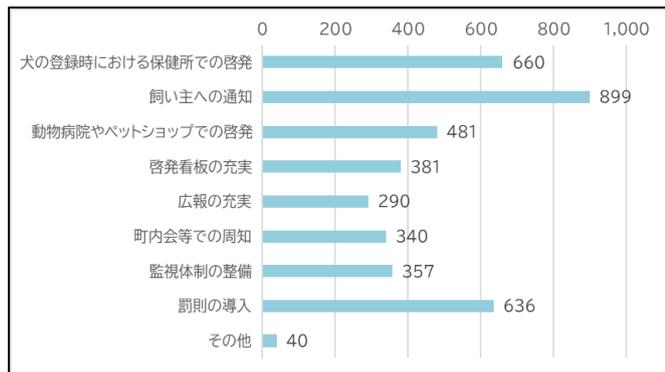
- ・私有地の庭や駐車場
- ・民間施設の駐車場
- ・川沿いの緑道
- ・集合住宅の敷地内 など

放置された犬のふんを見かける場所として、「道路・歩道」と答えた方が最も多く、日常的な散歩ルート上に犬のふんの放置が集中していることが分かりました。また、「見かけない」との回答も一定数見られましたが、「公園」、「河川敷」など、散歩に利用される様々な場所でふん放置の実態があり、依然として対策の必要があることが分かりました。

問9

飼い犬のふん放置をなくし、飼い主のマナー向上を図るには、どんな方法が必要だと思いますか？

	回答数
犬の登録時における保健所での啓発	660
飼い主への通知	899
動物病院やペットショップでの啓発	481
啓発看板の充実	381
広報の充実	290
町内会等での周知	340
監視体制の整備	357
罰則の導入	636
その他	40



<その他の回答>

- ・飼い主のマナー教育
- ・監視カメラの設置
- ・厳罰化
- ・学校等での教育
- ・個人の意識、モラルの向上 など

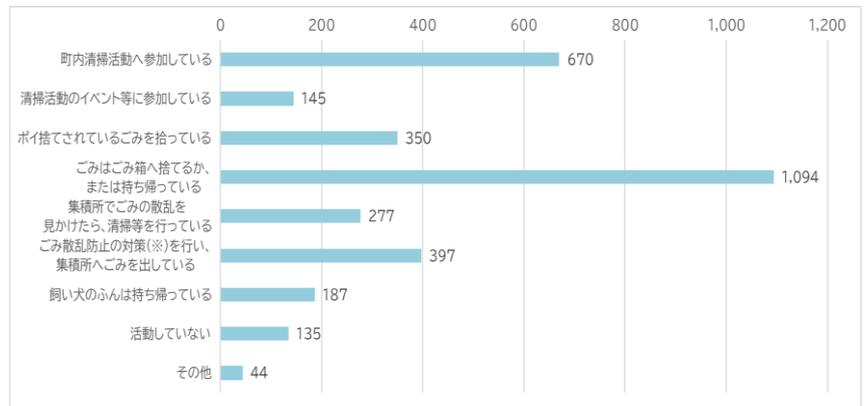
犬のふん放置防止のために必要な方法として、「飼い主への通知」、「犬の登録時における保健所での啓発」、「罰則の導入」の順に多く、飼い主へのルール徹底の意識づけが重要と捉えていることが分かりました。

4 ポイ捨てのない美しいまちづくりの推進について

問10

ポイ捨てのない美しいまちをつくるために、活動をしていますか？

	回答数
町内清掃活動へ参加している	670
清掃活動のイベント等に参加している	145
ポイ捨てされているごみを拾っている	350
ごみはごみ箱へ捨てるか、 または持ち帰っている	1,094
集積所でごみの散乱を 見かけたら、清掃等を行っている	277
ごみ散乱防止の対策(*)を行い、 集積所へごみを出している	397
飼い犬のふんは持ち帰っている	187
活動していない	135
その他	44



※ごみ袋の口をしっかりと結ぶ、風による散乱やカラスなどの動物に荒らされないようごみをネットの中しっかりと入れる など

<その他の回答>

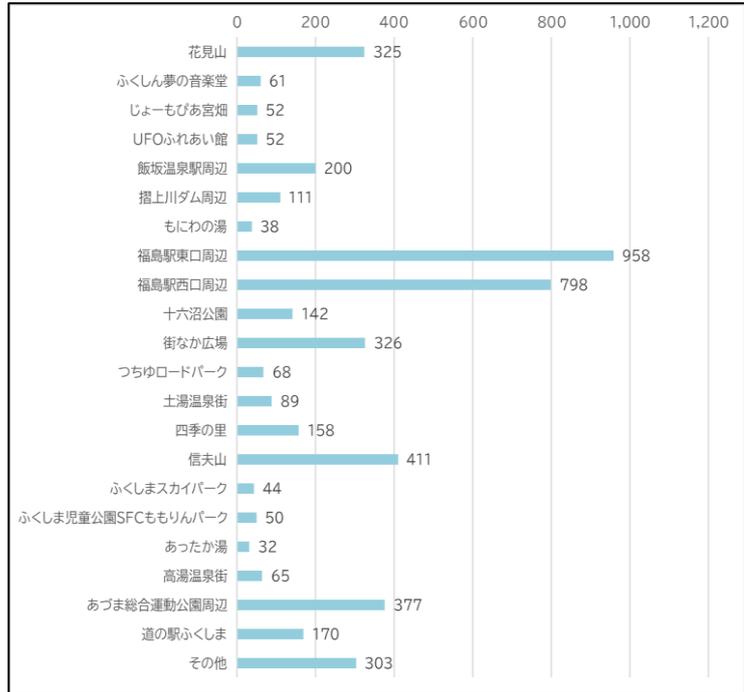
- ・会社等での清掃活動の参加 ・勤務先周辺の雑草むしり
- ・ふん防止看板(市支給)をフェンスにかかげ啓発している
- ・ポイ捨ての誘因とならないよう、ポイ捨てを見つけたら片付けるようにしている
- ・町会活動として花壇を設置し、美化に努めている ・ゴミ収集ルールを守っている など

多くの方が何かしらの活動を実施しており、自主的な美化活動への意識が広がっていることが分かりました。また、「町内清掃活動へ参加している」、「清掃イベントに参加している」といった声も一定数存在しており、地域内などでの美化活動における協力体制も見られることが分かりました。

問11

市内でポイ捨て防止を重点的に実施すべき場所はどこだと思いますか？

	回答数
花見山	325
ふくしん夢の音楽堂	61
じょーもぴあ宮畑	52
UFOふれあい館	52
飯坂温泉駅周辺	200
摺上川ダム周辺	111
もにわの湯	38
福島駅東口周辺	958
福島駅西口周辺	798
十六沼公園	142
街なか広場	326
つちゆロードパーク	68
土湯温泉街	89
四季の里	158
信夫山	411
ふくしまスカイパーク	44
ふくしま児童公園SFCもりんパーク	50
あったか湯	32
高湯温泉街	65
あづま総合運動公園周辺	377
道の駅ふくしま	170
その他	303



<その他の回答>

- ・国道や県道などの幹線道路 ・高速道路 ・道路脇 ・歩道
- ・河川敷 ・公園 ・空き地 ・市内全域 など

重点的に実施すべき場所については、「福島駅東口周辺」、「福島駅西口周辺」の順に回答数が多く、福島市の玄関口である、駅周辺がポイ捨て防止の重点エリアとして強く認識されていることが分かりました。

5 自由回答

問12

このアンケートや、ポイ捨てのない美しいまちづくりに対するご意見などがございましたら、お聞かせください。

- ・各個人のゴミの持ち帰りを徹底させる。
- ・ポイ捨てする人の人格の問題だと思います。そういう面からはやはり教育だと思います。
- ・一人一人のこころ掛けが、大事だと思います。
- ・個々人のモラルをいかに向上させるか、地道な活動だと思う。
- ・ポイ捨てが改善されないなら罰則を設けるべき。
- ・散歩途中での犬のふんの始末は飼い主のマナーとして是非徹底してほしい。
- ・幼稚園、小学校の頃からゴミをポイ捨てしてはいけないと道徳を教える。
- ・美しい町にする為に、啓発活動をお願いします。
- ・道路の道端の草刈りなどをすべきだと思います。
- ・ゴミ箱を増やして欲しい。
- ・外国人に対する周知。
- ・自宅付近のゴミは気付いた住民が拾って捨てる。
- ・ゴミ拾いのイベントを開催し、もっとポイ捨てを認識してほしい。罰則ばかりしないでもっとゴミに関心をもってほしい。

【環境衛生課まとめ】

本調査の結果から、自主的な美化活動への意識が広がっている一方で、依然としてごみのポイ捨てが地域課題として根強く存在していることが明らかになりました。また、犬のふんの放置に関しても、飼い主のマナーが向上し改善が図られているものの、問題視する声も一定数存在することが分かりました。

今後も、市民の皆さまからの貴重なご意見を参考にしながら、「ポイ捨てのない美しいまちづくり」の取組を推進していきます。ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ先】

福島市役所(〒960-8601 福島市五老内町3番1号)

《アンケート内容について》 環境衛生課 電話024-573-2557(直通)

《LINE アンケート制度について》 広聴広報課 電話024-563-7488(直通)